

(別紙)

インターネット公表に関する承諾書【記入例】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

附属図書館長 殿
自然科学研究科長 殿

島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程創成理工学専攻

〇〇〇〇〇コース 〇〇〇〇〇〇〇〇分野

学生番号 〇〇〇〇〇〇〇

氏名(自筆) 〇〇〇 〇〇〇 (印)

私が執筆しました下記の博士学位（請求）論文について、インターネットの利用による公表を承諾します。なお、やむを得ない事由により公開できない場合も、この事由がなくなった際は公表することを承諾します。

論文題目(和)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
論文題目(英)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
公表の条件	☐学位取得後、1年以内の公表を承諾します。 ☒下記理由により、指定した期日の公表を承諾します。 ※学位取得後1年以内に公表できない場合は「やむを得ない事由」と認められる理由が必要です。 【公表日】 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 【理由】 ☐博士論文中に現在投稿中または今後学術雑誌等に投稿予定の内容が含まれているため ☒博士論文の一部を掲載した学術雑誌の規定により、一定期間の公表が出来ないため ☐その他（ ）	
著作権処理について 項目を確認し、右欄の□にチェックを記入。	論文中に他の著作物からの引用が含まれる場合	☒ 出典を明示するなど、適切な処理を行っています。
	博士論文及び関連論文に共著者がいる場合	☒ 公表に関して共著者全員の承諾を得ています（口頭での確認でも可）。

	掲載・出版状況	著作権ポリシー確認状況
掲載・出版について 当該出版社等が定める著作物の利用に関する規定上、機関リポジトリ (Institutional Repository) での公開が認められているか ● 博士論文の全部又は、学術雑誌等にのみ又は採録決定後に記入。 ● 著作権ポリシーをきなった場合、附館コンテンツ担当すること。	誌名：○○○○○○○ ISSN：○○○○-○○○ 巻号：○○巻○○号 ページ：○○ページ～○○ページ 出版年月：○○○○年○○月○○日 DOI：○○○○○○○○○	☒ 1年以内の公表可を確認した。 ☐ 1年以内の公表不可を確認した。 発行後、機関リポジトリでの公表が禁止されている期間 (Embargo) 月 ☐ 公開が認められていない。 査読を受けた関連論文は Accepted version (著者最終稿) の著作権ポリシーを確認してください。
	誌名：○○○○○○○ ISSN：○○○○-○○○ 巻号：○○巻○○号 ページ：○○ページ～○○ページ 出版年月：○○○○年○○月○○日 DOI：○○○○○○○○○	☐ 1年以内の公表可を確認した。 ☒ 1年以内の公表不可を確認した。 発行後、機関リポジトリでの公表が禁止されている期間 (Embargo) ○○ 月 ☐ 公開が認められていない。 査読を受けた関連論文は Accepted version (著者最終稿) の著作権ポリシーを確認してください。
	誌名： ISSN： 巻号：	☐ 1年以内の公表可を確認した。 ☐ 1年以内の公表不可を確認した。 発行後、機関リポジトリでの公表が禁止されている期間
関連論文掲載雑誌の著作権ポリシーを確認して、記載してください。 著作権が著者にある場合、「1年以内の公表可を確認した。」にマークして下さい。 著作権が出版社や学会にある場合、「1年以内の博士論文の公表可」や「公表不可」など、インターネットや電話、メールなどでご確認ください。 ○インターネットで著作権ポリシーを確認する○ 国際的な学術雑誌 → 「Sherpa Romeo」から著作権を確認できます。 詳しくは別紙「Sherpa Romeo での著作権ポリシー確認方法」を参照してください。 国内の学術雑誌 → 「学会名鑑」などで確認できます。		
主指導教員に記入・押印してもらってください。		☐ 公開が認められていない。 査読を受けた関連論文は Accepted version (著者最終稿) の著作権ポリシーを確認してください。
主指導教員確認欄	☒ 当該学位論文について、剽窃検知ツール iThenticate を用いた確認の結果、剽窃とみなすべきものはないことを確認しました。	
	氏 名 ○○○ ○○○ 印	

※この承諾書は、博士論文のインターネット公表のため、著作権のうち複製権・公衆送信権について許可を与えていただくものであり、著作権を移譲するものではありません。

※博士論文中に、現在投稿中または今後投稿予定の内容を含んでいる場合は、掲載が決定した際に改めて、本書類の提出をお願いいたします。